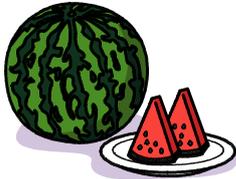




江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより
令和2年 7月 21日 発行
通算 第510号

教育目標 強い子になろう



すぐやる人は信頼される

校長 花生 典幸

明日から、子どもたちが待ちに待っていた夏休みが始まります。いつもの年より三日ほど短くなりますが、それでも28日間に及ぶ長いお休みです。お盆やお出かけなど、なにか楽しいことがある時には思い切り楽しむ、でもやらなければならないことには、けじめをつけてしっかり取り組むというふうに、メリハリをつけながら規則正しい生活を送り、有意義なお休みにしてほしいと願っています。

夏休みの生活の指導は、学校でも十分行いますが、どうしても子どもたちは解放された気分になりがちですので、非行や交通事故、病気やけが等に十分に気をつけるよう、ご家庭でも励まし見守ってくださればありがたいです。ご協力をお願いします。

休み明けには、子どもたち全員の元気な姿が、また見られることを楽しみにしています。よろしくをお願いします。



みなさんは、「**すぐやる課**」という課をご存じでしょうか？

千葉県松戸市に、このちょっと変わった名前の課が誕生したのは、昭和44年のこと。なにかお願いしてもにわかには動かず、なかなかやらしてもらえない状況を指して“お役所仕事”と揶揄されていた市役所行政に風穴を開けようと、当時の松戸市の松本清市長（ドラッグストア「マツモトキヨシ」の創業者）が市長直属の組織として立ち上げたのがこの部署でした。“すぐやる”を標榜する組織ですので、住民の苦情や要望等の処理には迅速に対応するよう努めたのだそうです。もちろん、訴えの内容によっては、すぐにはかなえられないこともあります。その際にはなぜすぐにできないかを、すぐ行って説明したのだそうです。決して、そのまま放ってはおかない。

その後、テレビドラマにも取り上げられたことでさらに有名になったこの課は、全国の自治体にも広まり、300を超す「すぐやる課」が誕生したそうです。松戸市のすぐやる課の部屋の壁面には、『すぐやらなければならないもので、すぐやり得るものは、すぐやります』という市長直筆の書が、現在でも掛けられているとのこと。

すぐやる人は信頼される、とはよく言われることです。

レスポンス(反応)が早いということは、その物事に真摯に向き合おうとしている**気持ちや姿勢を相手に伝え、安心感を与えることにつながります。関係性にも安定感やゆとりが生まれます**（よくある、すぐやらない悪い例……親「宿題は？」子「今やるから。あとこのゲーム10分だけ」親「10分たったわよ。早く宿題やりなさいって」子「今やるって、もううるさいな」……）。

今やることは、すぐに手をつける。今日やれることは、できるだけ先延ばしをしないで、その日のうちに仕上げる。世の中の動きやスピードがますます速くなりつつある昨今、すぐやることは、大事な信頼と好感を得ることにつながるのではないのでしょうか。